

国東市安岐町にある住吉社の伝統行事「川舟祭」に向け、安岐小5、6年生が「毛やり練り」の練習に取り組んでいます。

毛やりを受け渡す動作を反復練習するメンバー——国東市の安岐小学校体育館



毛やりを受け渡す動作を反復練習するメンバー——国東市の安岐小学校体育館

岐小5、6年生有志でつくれた一行が、再び住吉社を訪れる安岐文化財愛護少年団が隊列を組み、2人一組で玉。法被に鉢巻き姿の男衆が隊列を組み、2人一組で長さ3㍍の毛やりを握りながら練り歩く。途中、商店に一軒一軒立ち寄り、商売繁盛を祈願する。

岐小5、6年生の受け渡しを猛然と指導を受け、「よい練習に励んでいるのは安て」と指導を受け、「よい

### 伝統行事・川舟祭の「毛やり練り」

## 将来の担い手に

### 保存会

## 安岐小児童に初指導

「大きくなつても参加して」

が優しく教えてくれた」と感想。高校3年生から毛やり練りに参加する、町内下原の竹中邦藏さん(72)は「一度覚えれば忘れない。大きくなつて町を出ても、里帰りした時に祭りに参加してくれれば」と話す。

5年生の桜木彩乃さん(顔写真右)と鈴木菜々子さん(同左)は「踊りが難しかったけれど、地域の人

潮の日の夕方が始まり、住吉社のみこしを載せた船団が安岐川を遡上。上陸後に御旅所で神事を務め、隊列を組んで再び住吉社を目指す。



川舟祭  
保存会  
木付親次会長  
にまよと  
海上安全  
や大漁、商売繁盛を  
祈るもので1815  
年に始まった。1961年の水害  
後に一時途絶え、91年に復活。  
年から安岐町指定無形民俗文化財。  
(現市指定無形民俗文化財)。大財99

①川舟祭とは、何を目的にして始まった祭りでしょう。

②「毛やり練り」は、どういう人たちがすると決まっているでしょう。それを児童が取り組むことへの地域の期待は何でしょう。

③自分たちの地域の祭りに参加したことはありますか？発表しよう。

(2013年5月30日朝刊12面)